



平成 21 年 5 月 1 日

各位

クリングルファーマ株式会社の研究開発テーマが  
平成 20 年度「<池銀>コンソーシアム研究開発助成金」に採択されました。

クリングルファーマ株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」）は、急性腎不全を対象とする肝細胞増殖因子（Hepatocyte Growth Factor：HGF）組換え蛋白質の医薬品化を進めております。この度、当社の研究開発テーマである「急性腎不全治療薬としての HGF の臨床開発のための薬効・薬理研究」が、「平成 20 年度<池銀>コンソーシアム研究開発助成金」に採択されたことをお知らせします。

急性腎不全は尿細管の壊死により急激に腎機能が低下する疾病で、脱水、ショック、薬物、手術、腎虚血、急速進行性糸球体腎炎、急性間質性腎炎などが原因で起こります。急性腎不全の致死率は 50%にものぼりますが、今のところ根本的な治療薬がないため治療方法は対症療法に限られています。米国での患者数は年間約 70 万人で、そのうち 14 万人は集中治療室で治療を受ける重篤な患者さんです。

当社は現在、米国にて腎不全患者さんを対象とした第 I 相臨床試験を実施しています。また、続く第 II 相臨床試験のプロトコール立案に必要な薬効・薬理試験を大阪大学と共同で行っており、この研究開発テーマがこの度採択されたものであります。詳細は、当助成金採択に関する池田銀行ウェブサイト (<http://www.ikedabank.co.jp/pdf/20090422.pdf>) をご覧下さい。

クリングルファーマについて：

クリングルファーマは、大阪大学発創薬バイオベンチャーとして 2001 年 12 月に設立されました。大阪大学医学部の中村敏一名誉教授が発見した HGF および NK4 の医薬品開発を通じ、新規のバイオ医薬品の開発に注力しています。現在 HGF 組換えタンパク質を 1) 急性腎不全、2) 皮膚潰瘍、3) 難治性神経疾患の治療薬として、また NK4 組換えタンパク質と NK4 遺伝子を新規制癌剤として医薬品開発を進めています。より詳細な情報は、当社ウェブサイト ([www.kringle-pharma.com](http://www.kringle-pharma.com)) をご覧ください。

問合せ先：

波多野勝也

クリングルファーマ株式会社

総務部長

電話 06-6831-3330、電子メール [info@kringle-pharma.com](mailto:info@kringle-pharma.com)